

平成29年度 事業報告書

コース	<input type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input checked="" type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	「お困り高齢者お手伝い隊」の設立・運営事業
団体名	粒江地区社会福祉協議会
担当課	保健福祉局 健康福祉部 健康長寿課

1 事業の成果

平成29年度事業計画書(様式第2号)に記載した「5(2)事業の実施に期待する効果」に対応する成果を記入してください。(※実施した事業の詳細は「4 事業実施記録」に記入してください。)

- 独居高齢者等のちょっとした不便や我慢を強いられていたことなどの解消に資することができる。
 - ⇒ まだ、対応件数が少ないが、ゴミ捨てでは、ゴミ袋の重量があり、数も多い場合など、高齢者がゴミステーションまで運ぶことが負担になっており、お役にたっている面がある。また、精米について、精米機のあるところまで歩いて行っていたとことで、非常に喜ばれた。
- 「お困り高齢者お手伝い隊」への申し込みなどの機会を利用して、高齢者等の状況(健康状態や生活状況)などが確認でき、その状況によっては、倉敷南高齢者支援センターの対応にもつなげることができる。
 - ⇒ 高齢者支援センターが利用者からの電話を直接受けるため、高齢者の健康面や生活状況等の把握に役立っている。また、状況によってはすぐに対応も可能である。
- 独居高齢者本人および家族などの安心にもつながり、地域とのつながりができることで、地域の人も日頃から独居高齢者の状況を気にかけるようになる。
 - ⇒ この点については、これからというところ。お手伝いの実績を積んでいけば、安心にもつながり、地域のつながりも必然的にできてくると考える。お困り高齢者お手伝い隊の存在を地域の人に知っていただき、地域の人で独居高齢者等を見守るとの意識づけにしたい。
- 定年後の、特に男性高齢者の活躍の場ができ、地域とのつながりが深まる。
 - ⇒ 定年後の男性の活躍の場はできたので、今後、さらに隊員を増やすことで、学区内の各地域に隊員がいる状況になれば、地域とのつながりも深まっていくものと考え。

以上、まだ、活動を始めて日が浅いため、これからという部分が多いが、これからの季節は、草取りなどの利用件数が増加すると見込まれるため、隊員の増員を図るとともに、利用者の募集にも力を入れたい。また、お手伝いができる範囲の拡大を図り、地域づくりの一助になるよう努力したい。

2 事業の自己評価

事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば100点とします。なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は100点を超える点数を記入してください。

50 点

3 事業の課題

事業を実施する中で見えてきた課題を記入してください。

- お困り高齢者お手伝い隊の設立に向けて、サービス内容等を検討する中で、個人情報の取扱い、高齢者の建物内での活動はプライバシーの侵害や認知症と分からず対応した場合のトラブル発生などの課題(問題)がある。
- 高齢者(利用者)のみからの申込によりお手伝いをした場合に、事後に問題の発生(親族からのクレーム等)が懸念される。
⇨利用登録をする際に、リスクを軽減するため、親族に確認するような対応をしている。
- 上記のことなどから、お手伝い項目を絞り込み、基本的に、建物内でのお手伝いはしないこととしているが、一方では、もっと踏み込んだお手伝い(家の中のことなど)や、お手伝いできる項目、高齢者世帯への対応もしてほしいという要望もある。
- 今後、以上の課題等を検討しながら事業を少しずつ拡大するとともにお手伝い隊を粒江に定着させていきたい。

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
・お手伝い内容と料金、お手伝い当日の隊員数、利用申込と申し込み後の対応、利用料支払い・受け取り方法、隊員の報酬について協議	平成29年 4月21日	デイサービス センター浮洲園 1階	27名	
・お手伝い当日の隊員数、利用申込と申し込み後の対応、利用料支払い・受け取り方法、隊員の報酬について協議	平成29年 5月19日	浮洲園1階会議 室	16名	
・生活支援サービスを先進的に進めている事例について視察を提案 ・他所の生活支援サービスの内容、これまでの検討事項について確認。協議	平成29年 6月30日	浮洲園1階会議 室	13名	
・奈義町生活支援サポートセンター「みつばち」を視察	平成29年 7月13日	奈義町保健相談 センター	10名	
・ちよい悪おやじクラブの定例会においてお手伝い隊をPR、隊員を募集	平成29年 7月15日	うきうき館	21名	
・「みつばち」視察の感想、これまでの検討事項について協議	平成29年 7月21日	デイサービス センター浮洲園 1階	30名	
西粟倉村生活支援センター「楽々」を視察	平成29年 7月24日	西粟倉村いきいき ふれあいセン ター	12名	
・仮手引きを作成し内容を協議	平成29年 8月4日	浮洲園1階会議 室	15名	

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
・事業スタートにあたり、お手伝い項目等について、メンバーの認識に温度差があり、その解消について協議	平成29年 8月21日	浮洲園1階会議室	14名	
お手伝いの内容、手引きについて再検討	平成29年 9月8日	浮洲園1階会議室	11名	
・お手伝い内容と料金、利用の流れについて再検討	平成29年 9月19日	浮洲園1階会議室	10名	
・お手伝い隊手引きについて再検討	平成29年 9月29日	浮洲園1階会議室	11名	
・手引き、お手伝い報告書について再検討	平成29年 10月13日	浮洲園1階会議室	13名	
・事業スタート時期、手引き、利用者、隊員登録用紙、宣伝チラシについて協議、利用者募集開始	平成29年 10月27日	デイサービスセンター浮洲園1階	25名	
・お手伝い隊手引き、事業開始に向けた物品準備、隊員募集について協議	平成29年 11月20日	浮洲園1階会議室	14名	

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
・事業開始に向けた物品準備、お手伝い隊員募集について協議	平成29年 12月4日	浮洲園1階会議室	13名	
・事業運営開始時期・運営方法について協議、利用手順の再確認	平成29年 12月18日	浮洲園1階会議室	10名	
・事業運営開始日の決定、手引き・組織・運営方法について再確認	平成30年 1月12日	浮洲館フロア1階	22名	
・お手伝い隊員説明会、物品の検討、隊員・利用者の募集について協議	平成30年 1月18日	浮洲園1階会議室	13名	
・ゴミ捨ての依頼	平成30年 1月25日	利用者宅	1名	1名
・精米の依頼	平成30年 1月29日	利用者宅	1名	1名
・ゴミ捨ての依頼	平成30年 2月1日	利用者宅	2名	1名
・ゴミ捨ての依頼	平成30年 2月2日	利用者宅	2名	1名
・事業活動実績・状況報告、事業内容についての協議(お手伝い隊員ほか)	平成30年 2月26日	浮洲園1階会議室	14名	
・事業活動実績・状況報告、来年度事業内容の確認(地区社協役員ほか)	平成30年 3月23日	浮洲館1階フロア	24名	

収支精算書

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	収入済額	主な収入の内訳
受益者負担 (参加費, 受講料など)	45,000	0	利用料は直接隊員が利用者から受領し、隊員の報酬となるため、収入金額としては計上していない。(参考：4件500円)
会費からの繰入	0	0	
その他	100,000	32,446 100,000	粒江地区社協より
市補助金	244,000	92,000 244,000	
合計	389,000	124,446 344,000	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項目	予算額	支出済額	主な支出の内訳
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの)	9,000	0	・支出なし
	交通費(団体会員に支払うもの)	5,000	0	・支出なし
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	25,000	0	・支出なし
	謝金 (講師等に支払うもの)	0	0	
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	0	0	
	消耗品費	134,000	91,678	<ul style="list-style-type: none"> ・お手伝い隊ベスト (「粒江お手伝い隊」プリント代を含む) ・竹箒 ・ガーデンクリーナー ・ホーム草削り ・アナログヘルスマーター ・チャック式名札 ・ゴミ袋 ・軍手ほか
	印刷製本費	6,000	0	
	通信運搬費	5,000	0	
	保険料	9,000	696	社会福祉法人 全国社会福祉協議会福祉サービス総合保障
	使用料・賃借料	51,000	0	
	外注費・委託費	0	0	
	小計	244,000	92,374	

経費② (対象外経費)	食糧費	0		
	人件費	0		
	その他	145,000	32,072	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修(奈義町、西栗倉村) ・浮洲園のバスを借用(ドライバーを含めて無償) ・高速通行料、バス燃料代 ・手土産(2か所)
	小計			
合 計		389,000	124,446	

(記入上の注意)

※ 予算額は申込み時に提出した様式第3号の内容を記入してください。